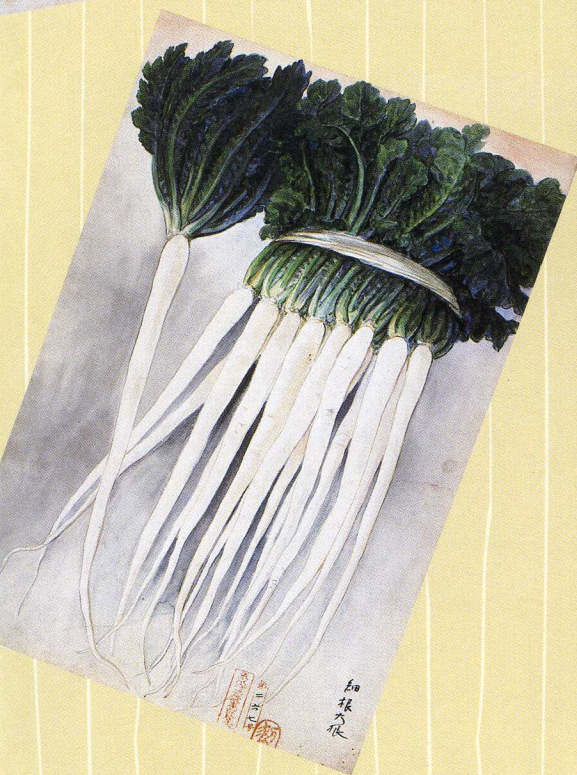
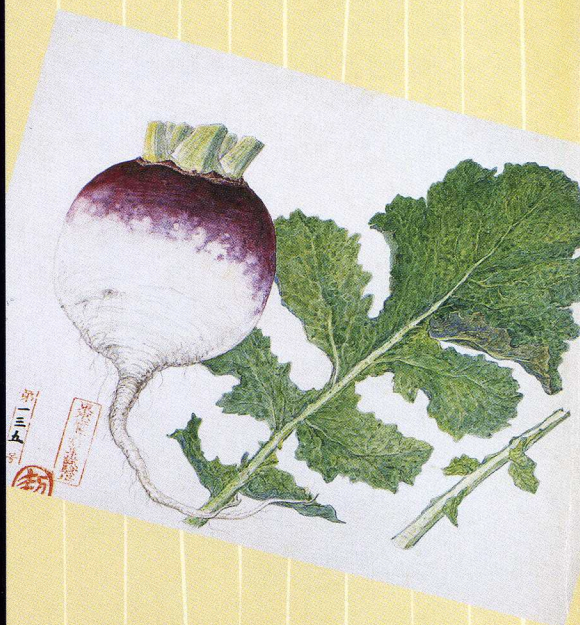




特別展
江戸・東京の四季菜
— 商品作物・漬物の生産と板橋 —



会 期 平成13年 **10月13日(土)～12月2日(日)**
午前9時30分～午後5時 月曜休館 入館無料

会 場 **板橋区立郷土資料館 2階 企画・特別展示室**
東京都板橋区赤塚 5-35-25 TEL. 03-5998-0081

共同開催 「練馬の商品作物と漬物 —江戸・東京の台所をささえた特産物—」

10月13日(土)～12月14日(金) 休館日 月曜日・10月26日(金)・11月22日(木)

練馬区郷土資料室 東京都練馬区石神井台1-16-31 練馬区立石神井図書館地階 電話 03(3996)0563

特別展 江戸・東京の四季菜—商品作物・漬物の生産と板橋

ごあいさつ

江戸時代以降、板橋区周辺地域は、巨大都市江戸に生活する人びとが日常消費する商品作物を生産する近郊農村地帯として発展してきました。

また、当地では地勢に適合した特産品を精力的に産出し、なかでもとくに志村地域の「美濃早生大根」や練馬・徳丸地域の「練馬大根」などの根菜類は、全国的にも著名な野菜として知られていました。

当地域で産出した大根は、沢庵漬に加工されて大都市江戸へと出荷されていました。これは、やがて全国規模での流通を遂げるなかで、日本の食文化を特色付け、その食卓を支える基本的な食品となっていたのです。

加えて、当地域ではこれら根菜類の種子の生産も盛んに行われており、板橋清水の「清水夏大根種」は上方までもその名が広まっていたことが、江戸時代の史料からも窺い知ることができます。このように、中山道という大動脈を背景とする、滝野

川三軒屋と合わせた街道筋には、有力な種屋が展開していく様子がみられ、やがてこれらは、近代以降になると一大産業である種苗業の拠点として大きく展開していくこととなりました。

以上のように、当特別展では、板橋区周辺地域における卓越した農業技術が創り出した商品作物と、その加工品である漬物の歴史的な経過について検証を加え、21世紀の板橋地域と都市農業の姿を再考していく機会としたいと考えます。

また、練馬区との共同開催事業を連携して行うことにより、より有機的な展示会・関連事業を展開して行くなかで、当地域における農業の特色について明らかにしていきたいと考えます。

最後に、今回の特別展の開催にあたり、貴重な資料などをご提供いただいた方々、ならびにご協力をいただいた関係各位に対して、厚く御礼申し上げます。

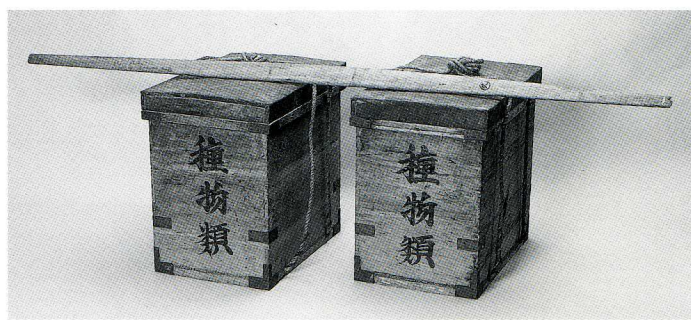
平成13年(2001年)10月
板橋区立郷土資料館



大根を手にする婦人



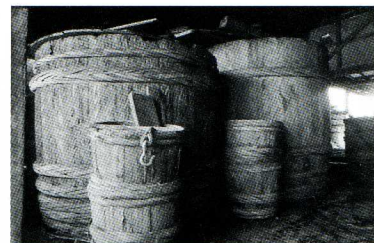
種屋看板
(清水権左衛門)



種箱 当館(木下家旧蔵)



農具便利論(大根洗い)



タクワン工場に残る古い漬物樽(1988年撮影)

農業関連・事業の案内

1. 板橋農業まつり

とき: 11月10日(土)・11日(日) 場所: 赤塚体育館周辺(板橋区赤塚5-6-1)
問合: 板橋区役所赤塚支所産業課 3938-5111

*2. 練馬区農産物品評会

とき: 11月10日(土) 場所: 石神井区民館展示室(練馬区石神井町3-30-26)
問合: 練馬区役所都市農業係 3995-1108

*3. あおば農業祭

とき: 11月17日(土)・18日(日) 場所: 練馬区立夏の雲公園(練馬区光が丘3-4)
問合: JA東京あおば本店指導部 5910-3066

なお、*の11月10日・11月17日(土)では「ねり大根」の販売を行います。

イベント情報

記念講演会: 11月4日(日)午後1:30~

東京学芸大学教授 大石 学氏「江戸城・江戸の町と周辺農村」

11月18日(日)午後1:30~

東京農業大学助教授 菊池 修平氏「漬物と科学」

※各々入館無料(先着順) / 資料館 2F講義室

体験学習: 11月23日(金・祝)午前中練馬大根のひっこめき体験

※募集等詳細は後日広報いたばしにてお知らせ致します。

交通案内

- 都営地下鉄 西高島平駅下車 徒歩13分
- 東武東上線 下赤塚駅下車 徒歩23分
- 営団有楽町線 営団赤塚駅 徒歩23分
- 国際興業バス成増発(赤羽行)
赤塚8丁目下車 徒歩8分



板橋区立郷土資料館

東京都板橋区赤塚5-35-25 TEL. 03-5998-0081